

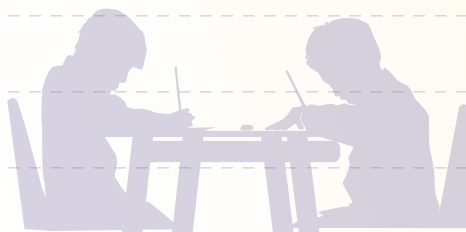


特集

「統一合判」 中学入試レポート vol. 1

2011年入試結果から探る、 **2012年首都圏** **中学入試展望**

皆さんの先輩にあたる受験生とその保護者が、親子で2011年の中学入試に挑んだ2月からすでに2ヶ月が過ぎた。そして今回は新6年生になった皆さんが迎え、初めての「小6統一合判」テストだ。前回1月の「目標校シミュレーションテスト」(5年生最終回)のときには、「2011年入試をしっかり見据えて、親子で新たなスタートを!」と述べたが今回のレポートでは、この2011年の入試結果偏差値(難度変化)から読み取ることができる、来春2012年入試の展望をお伝えしよう。



首都圏模試センター

■ 男子1月中の入試結果

埼玉では栄東、開智がさらに難化 千葉では市川、東邦大東邦も難化へ

今回は男女それぞれの入試結果偏差値の変動について、入試日ブロック別に順を追って見ていきたい。文中の数字は、とくに断りのない場合はすべて「入試結果80%偏差値」を示した。また、詳しくはこの「解答と解説」の巻末資料に「2011年中学入試結果偏差値（合格率80%）一覧」が掲載されているので、そちらを参照していただきたい。

はじめに男子1月中の状況を見ていこう。

1月8日の**函館ラ・サール前期〈東京会場〉**は66から68へとさらに2ポイント難化。10日の**西和学園**は今年も71という高い難度をキープした。同じ10日の**佐久長聖**は62から60へと2ポイント易化。新設2年目の1月9日の**愛光〈東京入試〉**は67から66へとやや易化。18日の**早稲田摂陵(3回)**は54から49、23日の**早稲田佐賀〈首都圏会場〉**は64から59と、ともに前年より5ポイントも難度を下げている。

埼玉入試の最難関、1月11日の**栄東〈東大選抜I〉**は前年の66から68と、さらに2ポイントの難化。

12日の**開智〈先端A入試〉**も66から68と2ポイント難化した。新設の**開智未来1回**は48に。

このほか埼玉エリアの入試では、**栄東、埼玉栄、星野学園**、さらには新設2年目の**昌平**などに難化傾向が見られた。茨城エリアでは**江戸川学園取手**に難化傾向が見て取れる。

2008年に千葉では初の県立中高一貫校として開校して4年目の**千葉県立千葉中学校**は、67から68と、さらに1ポイント難化。**千葉市立稲毛高附属**も57から58へと難化した。

続いて1月20日からの千葉入試では、最難関の**渋谷教育学園幕張1次**が、前年と同じ72を維持。変わらぬ首都圏入試の最難関レベルを保っている。**市川1回**は、66から67へとさらに1ポイント難化。**東邦大東邦〈前期〉**も65から67と2ポイント難化を見せている。**昭和秀英2回〈一般〉**も65から66へと1ポイント難化した。**専修大松戸1回**は59から60へと1ポイント難化した。

今年も1月中の茨城・埼玉、千葉エリアの入試と、地方の私学の東京会場入試は、首都圏全域の受験生が「受けられるチャンスをフルに生かして、力試しや志望校合格へのステップとして活用する」ための大きな存在となっている。

■ 男子2月1日の入試結果

早稲田実業、海城、 芝などが難化へ 東京都市大学等々力も 目立って難化

次に2月1日の入試結果を見ていきたい。

最上位の学校を見ていくと、**開成**は前年と同じ74で、変わらず首都圏私学の“最難関”のレベルを維持。

今春2011年の1月入試では、埼玉エリアを栄東旋風が席巻した。





この2011年入試でも高い難度を見せた慶應普通部。



麻布は73から72と1ポイント易化した。武蔵は前年と同じ71を維持。駒場東邦は前年と同じ69をキープ。慶應普通部も前年と同じ71を維持した。

2月1日に入試日が重なる早稲田大学の系属3校の中では早稲田1回が前年と同じ69を維持。早稲田実業は69から70へと再び1ポイント難化した。2年目の早稲田高等学院は、前年と同じ68を維持している。

海城1回は67から68へと1ポイント難化。桐朋は65から64へと、今年もさらに1ポイント難度を下げている。芝1回は65から66と、さらに1ポイントの難化。攻玉社1回は61から63へと2ポイント難化。世田谷学園1次は60から61と1ポイント難化した。

公文国際学園A〈算数〉は61から62と1ポイント難化した。新設から2年目の今年も人気動向が注目された中央大学附属1回は、56から60へと、なんと4ポイントもの難化を見せている。

国学院久我山〈ST第1回〉は63から64へとさらに1ポイント難化。同じく国学院久我山1回も59から60へと難化した。

共学部の新設2年目となる広尾学園〈特進選抜1回〉は56から58と2ポイント難化。同じく広尾学園〈特進選抜2回・午後〉も57から59と2ポイン

ト難化し、今年も難化傾向が目立っている。

共学部の新設から2年目の東京都市大学等々力〈特選一貫コース1回〉は50から57と7ポイントの難化。同〈特選一貫コース1回〉も51から56と5ポイントの難化を見せ、この2011年入試では全回とも難化が目立つ存在となっている。

このほか2月1日入試校では、順天、東京成徳大学、駒込、桜丘、日本学園、

武相などの中堅・新進の学校に難化の傾向が見て取れる。

男子2月2日の入試結果

ついに聖光学院が2日の最難関に！ 有名大学付属校の激しい競合も続く

次に2月2日の入試結果を見ていきたい。

最上位グループでは、聖光学院1回が、前年に続き、72から73へとさらに1ポイント難化。神奈川の私学の最難関に位置する形になった。一方、栄光学園が73から72へと1ポイント易化した。慶應湘南藤沢は前年と同じ70のレベルを維持している。

東京エリアでは、一昨年に2ポイント難化した明大明治1回が、今年も66という難度を維持。2日入試における都内の有名大学付属校のなかでは、難度トップとなっている。青山学院も前年と同じ65の難度をキープ。学習院1回は64から63へと3年続きで1ポイントずつ易化した。立教池袋1回は前年と同じ63となっている。大学付属校どうしの激しい人気争いが見て取れる。

2日の東京エリアの上位進学校では、巣鴨2期が64から62と2ポイントも易化した。攻玉社2回は

今年、栄光学園の難度を上回り、神奈川の最難関となった聖光学院。



63から64へと1ポイント難化。高輪Bは59から60へと1ポイント難化した。穎明館2回も59から61と、2ポイントの難化が目立っている。

神奈川では、鎌倉学園1次が62から63と1ポイント難化を見せた。午後入試2年目となる山手学院Bは57から61と、今年も難化が目立つ。森村学園2回は60から61と1ポイントの難化。

明大中野1回は60から61と1ポイント難化。東京都市大学付属2回も57から58と、さらに1ポイントの難化を見せている。法政大学第二1回も58から59と1ポイント難化。国学院久我山2回は、58から59と1ポイントの難化。話題の東京都市大学等々力〈特進一貫2回〉は48から56と、なんと8ポイントもの難化。同〈特選一貫2回・午後〉は53から58と5ポイントの難化。この2日入試でも目立って難化を見せている。

このほか2日入試でも、共学校では広尾学園、桜美林、かえつ有明、宝仙学園理数インター、順天、淑徳巣鴨、桜丘、日本工大駒場、男子校では日本学園などに、それぞれ難化の傾向が見取れ、そうした気鋭の私学の改革や成長への期待値が高まっていることが感じられる。

■ 男子2月3日の入試結果

早稲田2回が72へと難化

大学付属各校、公立一貫校も難化へ

次に2月3日の入試結果を見ていこう。

筑波大駒場は昨年と同じ76で、首都圏入試“最難関”の位置は変わらず。慶應義塾中等部も前年と同じ69の難度を維持している。筑波大附属は70から71と1ポイント難化。早稲田2回は70から72と、何と2ポイントもの難化。

海城2回は69から70と1ポイントの難化。本郷2回は65から66と1ポイント難化を見せた。

国立大学附属校では、東京学芸大附小金井が63から62と1ポイント易化した。

明大明治2回は、66から67と1ポイント難化。学習院2回は前年と同じ63を維持している。法政大学2回は61から62と1ポイント難化した。山手学院Cは57から61と、ここでも4ポイント難化した。

東京都内の公立中高一貫校は、新設5年目の小石川が61から63と2ポイント難化。桜修館も58から60と2ポイントの難化を見せている。両国は60から61と1ポイント難化。神奈川の県立相模原は56から57と1ポイント難化した。

このほか3日入試校では、1日・2日の前半戦と同じく広尾学園、東京都市大学等々力、桜美林をはじめ、関東学院、淑徳、東京成徳大学などの共学校が難化。また、横須賀学院3次は47から52と5ポイントも難化。桜丘、日本学園、武相もやや難化した。

■ 男子後半戦の入試結果

後半戦でもチャンスに果敢に挑む

男子受験生の熱意が難度に反映！

それでは男子の後半戦、2月4日以降の入試結果



を見ていこう。

まず、後半戦の最難関である4日の**聖光学院2回**は、昨年難化した73という高い難度を今年もキープ。首都圏の最難関レベルの入試となっている。**サレジオ学院B**は5年続きで67、**芝2回**も67という高い難度をともに維持している。新設2年目の**中央大学附属2回**は初年度と同じ66という難度を今年も維持した。

4日の**城北3回**は63から64と1ポイント難化。世田谷学園**3次**も61から62と1ポイント難化を見た。**東京都市大学等々力〈特選一貫3回〉**は51から58と、この日も7ポイントの難化。**足立学園〈特選3回〉**は49から56と、こちらも7ポイントの難化を見せている。**東京成徳大学4回〈プレミアム〉**も45から52と7ポイント難化した。

このほか4日では、やはり前半戦と同じく、**かえつ有明**、**関東学院六浦**、**京北**、**武相**などが、前年より難化を見せている。

5日の**逗子開成3次**は65から64と1ポイントの易化。**桐蔭学園中等教育学校3次**は61から63と2ポイントの難化を見せている。**関東学院D〈午後〉**も51から54と3ポイント難化した。**聖学院4回〈特選〉**も46から48と2ポイント難化している。**横浜隼人5回〈午後〉**は39から47と8ポイントも難化を見せている。昨年9ポイントも難化した**横須賀学院4次**は、48から50と今年もさらに2ポイン

ト難化した。

6日の**神奈川大附属C**は61から62と1ポイント難化した。

7日では、**山手学院〈後期〉**が59から62と3ポイントの難化を見せている。

■ 女子1月中の入試結果

埼玉の栄東、開智はさらに難化へ 千葉の市川、東邦大東邦も難化

それでは次に、女子の結果偏差値の変動について、入試日別に順を追って見ていきたい。

はじめに女子1月中の状況を見ていこう。

1月10日から始まる埼玉エリアの入試では、11日の**栄東〈東大選抜I〉**が66から68と、男子と同様に2ポイントの難化。12日の**開智〈先端A入試〉**も66から68と2ポイント難化した。14日の**浦和明の星女子1回**は69という高いレベルを今年も維持。**淑徳与野1回**も64という難度を維持している。こうした埼玉エリアの難関校への人気集中が、この2011年入試の目立った傾向ともいえるだろう。

このほか埼玉、茨城エリアの入試では、**栄東**、**開智**、**埼玉栄**、**星野学園**、**春日部共栄**、**大妻嵐山**、**昌平**、**江戸川学園取手**などの各回の入試に難化傾向が見られた。

1月20日からの千葉エリアの入試では、1月入試の最難関に位置する22日の**渋谷教育学園幕張1次**が4年続きで72という高いレベルをキープ。**桜蔭**、**慶應中等部**に続き、**女子学院**、**豊島岡女子学園3回**と並ぶ首都圏の最難関レベルの入試となっている。20日の**市川1回**も67から68と1ポイント難化。21日の**東邦大東邦〈前期〉**も65から67と2ポイントの難化を見せている。

2月4日の2日目入試は男子上位生が集中して毎年厳しい入試状況の芝



今年も大変厳しい入試状況だった東邦大学附属東邦。



このほか千葉エリアでは、**昭和学院秀英2回**〈一般〉が65から66と、さらに1ポイント難化。**専修大松戸**は1回が59から60、2回が60から61と、ともに1ポイント難化した。**麗澤**、**成田高付属**、**東海大浦安B**などにも、やや難化傾向が見られた。

公立中高一貫校では、1月23日の**千葉県立千葉**は67から68と、さらに1ポイント難化した。

■ 女子2月1日の入試結果

桜蔭は74、女子学院は72に！
洗足学園、立教女学院が難化へ

女子の2月1日入試校の結果を見ていこう。

この2月1日の“最難関”**桜蔭**は前年と同じ74という高いレベルを維持。さらに求心力を強めた印象だ。**女子学院**も前年と同じ72という難度を維持。**雙葉**は70から71へと1ポイント難化した。**早稲田実業**の女子は、今年も前年と同じ71を保っている。

フェリス女学院は69から68とやや難度を下げた。**横浜雙葉**も63から62へと1ポイント易化。

同じく難関グループでは、**洗足学園**1回が64から66と、2ポイントの難化を見せた。**鷗友学園**1次も63から64と、再び1ポイント難化。**学習院女**

子Aも63から64と1ポイント難度を上げている。

国学院久我山〈ST第1回〉は63から64と、さらに1ポイント難化した。同じく1日午前の**国学院久我山1回**も57から58と1ポイント難化した。

立教女学院は61から63と2ポイントの難化を見せている。**頌栄女子学院**1回は61から63と2ポイントの難化が目立つ。

公文国際学園A〈算数〉は61から62と1ポイント難化。**富士見**1回は57から58と1ポイント難化を見せている。

新設2年目を迎えた**中央大学附属**1回は、61から60と1ポイント易化。**桐蔭学園理数コース1次**は57から59と2ポイント難化した。

カリタス女子1回は、58から57と、前年に続き1ポイント易化。**清泉女学院**1期は58から56と2ポイント易化した。

京都市大学等々力〈特選一貫1回・午後〉は52から57と5ポイントも難化。同〈特進一貫〉も52から54と2ポイント難化した。

実践女子学園1回が55から53へと2ポイント易化した。**大妻中野**2回〈アドバンスト〉は54から55と1ポイント難化。

今年から、2月1日の午後入試に参入した**関東学院A**、**湘南学園A**は、ともに56という難度となった。午前入試の**日本大学A**は53から54とやや難化した。

共学化5年目の**広尾学園**〈特進選抜2回〉は58から59と、さらに1ポイントの難化。同じく**広尾学園**〈特進選抜1回〉は前年と同じ57を維持。この2011年入試でも全体にレベルアップが目立っている。

また、男子と同様に、将来への期待値を高めている新進の私学はいずれも難化傾向にある。たとえば**中央大学横浜山手女子**1回は、45から48と、前年に続いてさらに3ポイントの難化。**東京成徳大**1回PM・特待は50から53と3ポイント難化した。

このほか1日入試では、**順天**、**桜美林**、**横須賀学**



今春は2月1日の第1回入試を目立って難化させた洗足学園。



院、淑徳、関東学院六浦、駒込、共立女子第二や、共学化初年度の横浜翠陵などが難化した。

■ 女子2月2日の入試結果

豊島岡女子が2日の最難関へ！ 鷗友学園、吉祥女子も難化

続いて女子2月2日の結果を見ていこう。

豊島岡女子学園1回は、70から71と再び難化し、この2日入試の最難関に位置する形になった。慶應湘南藤沢は前年と同じ70という高い難度を保っている。青山学院は前年と同じ67をキープ。明治大学明治1回は、今年も67という高いレベルを維持している。

白百合学園は前年に3ポイント難化した67という難度を今年も維持している。晃華学園1回は、63から64と1ポイントの難化を見せている。

吉祥女子2回は63から66と、この2日入試では3ポイントも難化した。鷗友学園女子2次は64から65と1ポイントの難化。洗足学園2回は、前年に3ポイント難化した65の難度を今年もキープ。

鎌倉女学院1次は63から62と1ポイント易化。湘南白百合学園も60から59と1ポイント難度を下

げている。山手学院Bは57から62と5ポイントもの難化。神奈川の上位に食い込む形となった。

穎明館2回は60から61と1ポイント難化。国学院久我山2回は58から59へと1ポイント難化。富士見2回は前年と同じ57を維持している。

2日の午後入試に参入した桜美林2回〈PM〉は58という難度となった。同じ桜美林2回〈AM〉は54から56と2ポイント難化した。

この2日でも、広尾学園〈特待IS〉は56から58と、さらに2ポイントの難化。東京都市大学等々力〈特選一貫2回・午後〉は52から57と5ポイントの難化、同〈特進一貫〉は49から56と7ポイントも難化した。

このほか2日入試では、順天2回Bが55から57と2ポイントの難化を見せたほか、かえつ有明、中央大学横浜山手、東京成徳大学、宝仙学園理数インター、東京女子学園、淑徳巣鴨、横浜隼人、横浜翠陵、鎌倉女子大などに難化傾向が見て取れる。

■ 女子2月3日の入試結果

明大明治、法政大学など付属校が難化 公立中高一貫校も難化傾向へ

続いて女子2月3日の結果を見ていこう。

まず慶應義塾中等部は、今年も前年と同じ73という高い難度をキープ。筑波大附属は71から72と1ポイント難化した。豊島岡女子学園2回は71から72へとさらに1ポイント難化。ここでも最難関の入試レベルとなった。お茶の水女子大附属は67から68と前年に続いてさらに難化した。

明大明治2回は67から68と1ポイント難化。学習院女子Bは前年と同じ65を維持している。晃華学園2回は65から64と、この日は1ポイント易化した。日本女子大学附属2回は63から64と1ポイント難化。法政大学2回は61から62と1ポイント

この2011年入試で大人気となり、神奈川の上位校に食い込んだ山手学院。



難化した。

都立中高一貫校では、**小石川**は62から64と2ポイント難化。**両国**は60から61と1ポイント難化。**桜修館**は58から60と2ポイント難化した。

成城学園2回は59から60と1ポイント難化。**三輪田学園2回**は56から57と再び1ポイント難化。**品川女子学院2回**は58から56と2ポイント易化した。**関東学院C**は53から55と2ポイントの難化。**中央大学横浜山手3回**は50から54と4ポイントも難化した。**横須賀学院3次**も47から52と5ポイントの難化を見せている。

また、3日入試でも、**広尾学園**、**東京都市大学等々力**などの難化が目立つほか、**宝仙学園理数インター**、**淑徳**、**星美学園**、**横浜女学院**、**横浜隼人**、**横浜翠陵**などの各校に難化傾向が見られた。

■ 女子後半戦の入試結果

実力派進学校が後半戦でも難化 共学化を進める各私学も難化傾向に

最後に、女子の後半戦である2月4日以降の結果を見ていこう。

2月4日の最上位では、**豊島岡女子学園3回**が70から71と、さらにレベルアップ。**鷗友学園女子3次**は65から66と再び1ポイント難化。**吉祥女子3回**は64から65と、こちらも再び難度を上昇させている。

東京都市大学等々力〈特選一貫3回〉は51から58と、ここでも7ポイントもの難化。**東京成徳大学4回〈プレミアム〉**は45から52と、こちらも7ポイント難化した。**かえつ有明〈国算選抜〉**は48から50と2ポイント難化。**関東学院六浦C〈午後〉**は44から46と2ポイント難化を見せている。

5日では、**晃華学園3回**が64から65と1ポイント難化。**洗足学園3回**は65から66と、さらに1ポイントの難化。**法政大学3回**は62から64と2ポイントの難化。**日本大学C**は56から57と1ポイント難化。**関東学院D〈午後〉**は53から54と1ポイント難化した。**横須賀学院4次**は47から50と3ポイント難化した。**横浜隼人5回**も、39から47と8ポイントも難化を見せている。

6日では、**神奈川大附属C**が61から62と1ポイントの難化。**横浜翠陵5回**は41から42と1ポイントの難化を見せている。

7日では、**山手学院〈後期〉**が59から62と、この後半戦でも3ポイントの難化を見せている。

この後半～終盤では、男子と同じように、前半戦で難化した新進の私学や勢いのある私学が、ここでも人気を集めて難化したケースが多く見られた。

しかし、入試の前倒し傾向が進み、1月中の入試機会も増えている現在、この後半戦には、それらの人気校でも予想外に易化するケースが出てきている。それだけに、「最後まで粘り強く受け続けていくことで必ずチャンスが開けてくる」と考えて、あきらめない気持ちを持つことが大切だ。

来春も、とくに後半戦では、「気持ちで負けない」ことが必要条件となる。そういう強い覚悟で、この後半戦の受験チャンスを生かしてほしい。